



2025 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 日東精工株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒賀 誠
(コード : 5957、東証プライム市場)
問合せ先 取締役 財務戦略本部本部長 松本 真一
(TEL. 0773-42-3111)

立命館大学との共同研究契約のお知らせ

当社は、立命館大学との間において、「PFAS を可視光で分解するフロー装置の開発」に関する共同研究契約を 9 月 8 日に締結しましたのでお知らせいたします。

本研究の遂行により、社会的課題の解決に役立つ新たなソリューションを共に創出し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- 記 -

1. 共同研究概要

項目	概要
研究題目	PFAS を可視光で分解するフロー装置の開発
依頼する機関 および研究者	立命館大学総合科学技術研究機構先端材料研究センター 生命科学部応用化学科・教授・小林洋一氏
目的・内容	小林教授が、独自に合成した半導体ナノ結晶に可視 LED を当てることで、ナノ結晶表面の有機分子が脱離・分解して PFAS を効率的に吸着し、フッ化物イオンにまで分解・無害化することに成功。 現行は、1mL ビーカーによるバッチ処理であることから、PFAS 含有水を連続的に分解する「フロー装置」を開発する。
実施場所	立命館大学びわこ・くさつキャンパス 滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1

2. 今後の見通し

本研究は、3 年間を想定して開発を進めるものであり、立命館大学と協議のうえ、判断してまいります。

なお、本件が 2025 年 12 月期業績予想に与える影響は軽微ですが、中長期的には、コア技術を活用した当社グループの環境関連分野の事業拡大に資するものと考えております。

以 上

参考

難分解性の PFAS を可視光で温和に分解する技術の開発（立命館大学 NEWS&TOPICS）

<https://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=3701>